

農林土木業務委託共通仕様書

受注者は、上記の仕様書に基づきこの業務委託を履行するものとする。

令和8年度

磐田市竜洋地区内水対策検討業務委託

特記仕様書

令和8年度 磐田市竜洋地区内水対策検討業務委託
特記仕様書

【目次】

1. 業務目的	1
2. 業務範囲	1
3. 業務内容	1
3.1 計画準備	1
3.2 資料収集整理	1
3.3 竜洋地区内水対策の検討	1
3.3.1 目標規模の設定	1
3.3.2 対象外力の設定	1
3.3.3 現況流下能力評価	1
3.3.4 水路改修案の検討	2
3.4 今後の対応方針の整理	2
3.5 報告書作成	2

1. 業務目的

本業務は、過年度業務で整理した令和4年台風15号豪雨の洪水規模および浸水要因分析結果を踏まえ、竜洋地区における内水対策の目標規模および対象外力、対策案の検討を行うものである。

なお、検討にあたっては、磐田市内の他水系における水災害対策プラン等の計画を踏まえるとともに、過年度業務成果を基に現況流下能力の評価条件の整理・見直しを行い、再評価を行うものとする。

2. 業務範囲

磐田市 駒場外 地内（流域面積 1,490ha）

3. 業務内容

本業務の内容は、次に示す通りとする。

3.1 計画準備

本業務を円滑かつ確実に実施するため、業務計画書を作成し、提出する。

3.2 資料収集整理

過年度業務において収集した資料に加え、竜洋地区でこれまで実施した浸水対策に関する検討資料（計画・工事）を収集し、竜洋地区での浸水対策の検討経緯をとりまとめる。

3.3 竜洋地区内水対策の検討

3.3.1 目標規模の設定

磐田市内の水災害対策プランや、既往の浸水対策計画等を踏まえ、竜洋地区における内水対策の目標規模を設定する。

3.3.2 対象外力の設定

対象外力の設定については、過年度業務成果において構築した流出関数法による流出解析に加え、3.1で収集したこれまでの浸水対策に対する流出計算手法を整理し、目標規模に対する対象外力の設定を行う。

3.3.3 現況流下能力評価

現況流下能力の評価については、過年度業務成果を基礎資料とし、評価条件の整理および見直し並びに排水路の現況断面等に関して新たに確認される事項を踏まえ、現況流下能力の評価を行う。

なお、検討対象とする排水路は、浸水被害が確認された第1号排水路とする。

3.3.4 水路改修案の検討

3.3 の現況流下能力評価結果と 3.2 の対象外力との比較により、流下能力が不足する区間を抽出し、水路改修案を検討する。

なお、検討対象とする排水路は、現況流下能力評価と同様に第 1 号排水路とする。

3.4 今後の対策案の提案

過年度業務および本業務の検討結果を踏まえ、竜洋地区における内水被害軽減に向けた今後の対応方針を整理する。

3.5 報告書作成

各項の成果内容を集約・整理し、報告書として提出する。

3.6 打合せ協議

(着手前・中間・最終)